



今年も元気だ！ 大盛況新年会55名が集う

—— 1月8日（土）磯久亭で開催 ——

参加者（50音順、敬称略）

赤萩洋一、朝木吾朗、芦田均、有賀傳、井垣和太、石井久長、石川武、井原徹、上素子、上幸雄、江藤昌明、大西幸夫、岡田一郎、小野智、風間和夫、川合宏幸、木谷肇、木谷夫人、久世利夫、久保栄二、紅松喬、紅松容子、小亀輝雄、小林傳、佐久間厚、塩見之一、重原真知子、鈴木国夫、鈴木義信、高橋文子、高橋正夫、高部素行、高鷲近、田口政澄、田代光一、木森通夫、当間昭治、戸田志郎、内藤慎、長井治、夏山一彦、額田伊久夫、野田数、野村保夫、藤沢博恭、細渕昌、堀田秀夫、三宅良太、三宅夫人、守屋幸一郎、八木勝利、山下邦康、山下夫人、吉村正、宮沢講師



5歳は若く見える。間違いない！

夏山一彦（S48社学）新入会員 感想記

「5歳は若く見える。間違いない！」1月8日の大新年会合東村山稲門会に初めて出席し、皆さんにお会いしたときの私の感想でした。それ以来、誰となく人に会うと「稲門会の平均年齢は62、3だろうか、いや一元気で若い！私と同じくらいかなと思って年齢を尋ねてみると、60歳やそれ以上。いや一驚きました。」の連発で「さすが先輩！」と誇らしく思う今日この頃。

昨年暮れに総長室の関谷参事から東村山稲門会が意気揚々と活動していることを聞き、「ぜひ入会を！」とお願いしたところ早速、井垣事務局長から入会申込書や資料が届きました。驚かされたことは、同じ恩多町1丁目に先輩がいるという「わくわく感」と郵便切手が貼っていない申込書がポストに入っていたことでした。「わざわざ届けていただいたのだからお礼を言わなければと、愛犬（ポメラニアン）を連れて住所を頼りに井垣事務局長のご自宅近辺をウロウロしてみたりしました（結局は見つかりませんでした）。その後、「ポストマン」として地区割りで会員宅にポスティングしていることを知り頭が下がる思いとその行動力に敬服した直後、「ヤバイ、自分に番が回ってくる！」と現実引き戻された始末です。

宮沢先輩の雑学講座、新年宴会、カラオケ同好会（宴席での目の前が八木先輩であったということもありその場で入会）、カラオケ二次会と、まさに学生時代のノリの宵でしたが、皆さんとの袖と袖とのすれあい、関わり合いは、短い時間でしたが、懐かしく、心が和み、そして勇気づけられるものでした。中小企業経営という「いやな商売」をやっておりますと、皆さんとの交流や会員としての活動にも時間的な制限がありますが、少しでも時間を割いて相互に親睦を深めたり、啓発しあったり、又母校や後輩学生達そして地域社会に貢献ができる活動ができればと思っています。今後共よろしく願います。

会からのお知らせ

会員の皆さんの年頭所感-2 (前号掲載洩れとなりました。お詫びいたします。)

三宅良太 東村山稲門会も早いもので創立10年が間近になりました。その間幹事・世話人の方々のご尽力と会員皆様のご協力により順調に継続されております。今後もこの調子で発展出来るよう念じます。

○定例役員会

日 時： 3月12日(土) 13:30~14:30
場 所： ふるさと歴史館 視聴覚室
都合の付く会員は自由にご参加ください。

○第38回東村山雑学講座のご案内

日 時： 3月12日(土) 15:00~16:30
場 所： ふるさと歴史館 視聴覚室
演 題： 「波乱に満ちた人生行路」 一或る飄々とした早稲田マンの前向き人生一
講 師： 森 実 政 純(もりざね まさずみ)氏
ワールドステイクラブ 元会長
昭和33年早大大学院法学研究科 卒

法学部講師を故あって辞任し、その後アメリカに渡り、数々の事業を興し、帰国後ワールドステイクラブの会長となる。2~3年前心筋梗塞と首の大手術をし、昨年傘寿を迎えてなお海外旅行のリーダーとして活躍。その生き様は我々に大いに勇気とエネルギーを与えるものと信じます。

○「東京稲門ライオンズクラブ」結成の動きについて

ロータリークラブとならんで国際的社会奉仕活動団体のライオンズクラブから、「東京稲門ライオンズクラブ」の組織化の案内がありました。別紙を一読の上関心のある方は、連絡をして下さい。

○会費納入有り難うございました。(12/27~1/31受付分)

奥山康治、佐藤喜一郎、小久保清、服部牧子、町田和夫、神保裕行、松澤宏、小野賢二
以上8名 累計158名 (受付日順 敬称略)

未納の方には、ニュースの封筒宛名ラベルに赤線が入っています。ご確認ください。

年会費(3,500円+1,500円)の振込先は

郵便振替口座 00160-0-112250 名義 東村山稲門会

(平成16年10月~平成17年9月 までの1年間の会費です。)

あと69名のみなさんよろしく。お問い合わせは事務局まで。

第37回東村山雑学講座

H17. 1. 8 於市民センター別館

「私の取材秘話」

講師 宮沢 晃平氏（元 NHK記者 昭31年早稲田大学教育学部卒）

はじめに

宮沢氏は昭和31年にNHKの放送記者として入局し、八幡、門司、小倉、名古屋、東京、沖縄、福岡、東京の異動を重ねて報道畑一筋に35年間勤務されました。この間には米軍統治下時代に沖縄特派員を、また東京報道局で社会部、特報部、国際部デスクに籍をおき、また警視庁、建設省、運輸省、環境庁、国土省、国会の各記者クラブを担当されました。広範な報道記者活動を通しての貴重な実話や秘話、それにオフレコの情報までご披露いただき、耳を傾ける60人強の参加者を魅了させました。

マスコミの渦中にあった前NHK会長の海老沢勝二氏とは早稲田同窓、同期入局でもあり、講演の最後には彼の性格や活動振りの一端も紹介されました。

講演の要旨を以下にまとめてみました。

宮沢氏は通称サツまわりと言われる警視庁担当時代のエピソード紹介から口火を切り、一番情報を握っている人物やニュースソースに迅速に接近し、事件の本質に関わる重鎮に接触することが必須であり、ネタ取りの基本は人間関係に拠ることを強調されました。

現在は一斉に発表がある殺人事件も、かつては当局の発表は皆無で、警視庁内の記者クラブのマージャン卓を囲みながら、鑑識の動向が怪しいと睨んで、自らの足で追跡して報道記事を書いたそうです。警視庁等の発表を鵜呑みにすることなく、常に現場取材が基本動作であることを、また刑事の家の風呂にも入る家族付き合いの人間関係や信頼関係構築が生み出した川崎競輪八百長事件の写真入り特ダネ記事は夜討ち、朝駆けの勝負に拠るものであることを紹介されました。社会部にあっては昭和57年2月の柳田邦男記者の特ダネ「日航機逆噴射と片桐機長の精神病」の羽田空港着陸寸前での海上墜落事故や日産元社員と弁護士の安部治夫による欠陥車恐喝事件を遊軍記者としての報道実績もあります。

昭和45年のよど号ハイジャック事件では、人質覚悟の山村運輸政務次官と特別機に同乗し、金浦空港での機内様子を入手して、大塚利兵衛アナの19時定時TVニュースで「犯人は9人の赤軍派で、日本刀を持つ・・・」の後世に残る取材合戦の経緯を詳しく紹介されました。また催涙弾を浴びながらの東大安田講堂攻防戦の取材、沖縄返還時の取材顛末記、現在、宮沢氏が参加している放送人政治懇話会での最新話題として北朝鮮拉致被害者達の動向と現内閣を身内だけ集めた自閉症内閣と斬る大物政治家の評価も紹介されました。

最後に現在のマスコミ活動が危険を孕んでいる例として、①情報の氾濫、②プライバシーに踏み込むケースの激増。③マスメディアが世論をミスリードする危険性。④お茶の間番組の視聴率競争を挙げられ、NHKが探求するマスコミの使命と公正中立を旨とする国民の生命財産を守る災害緊急報道や選挙報道の意義を説かれる一方、われわれ視聴者の賢い選択が一層必要であることをまとめとして強調されました。

(文責 岡田一郎)



麻雀同好会



世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621

先にお知らせの如く、平成17年第1回麻雀大会を下記要領にて開催致したくご案内申し上げます。

早いもので東村山稲門会創立以来、第31回目の大会となります。

毎回出席の方、1回しか出席のない方、そして1回も優勝の快感を味わってない方(?)どうか皆様加齢と共に頭脳の体操も考えて、是非今年からは毎回出席して、毎回優勝をと決意して頂いて、多くの方のご参加をお待ち致します。

[注] 5～7卓になればと世話人の願望です。

記

日 時：3月13日(日)

開 始：12時30分 時間厳守(集合時間ではなく開始時間です。)

場 所：マージャンM

本町4-12 アメニティパレスB1

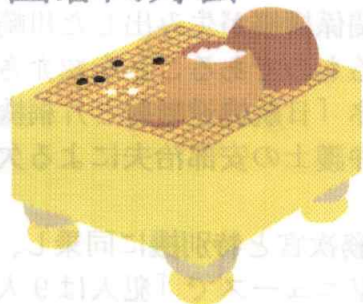
TEL 397-5288

会 費：6,000円

締め切り：3月10日(木)

雀卓、人数の都合上出来るだけ早めにTELでご連絡下さい。

囲碁同好会



世話人 野村 保夫 TEL 394-0417
高 鷲 近 394-2336

●2月大会とオール早稲田囲碁祭りのお知らせ○

●第10回大会は、既報の通り**2月19日(土)、午後1～5時**まで、いつもの**別館第4会議室**でおこなわれます。

節目の10回目なので多数の参加を期待しております。なお今回から優勝者に、持ち回りの「優勝杯」の他に「優勝盾」を持ち帰

り品として用意したいと考えています。

○恒例のオール早稲田囲碁祭は、開催日が5月に変更され、より広い会場で開かれることになりました。また級位クラスの部も設けました。詳細は大会当日にご案内致します。

日時：平成17年5月22日(日) 10～17時

場所：市ヶ谷日本棋院2階

郷土史の会

世話人 三宅 良太 TEL 394-5298

平成17年第1回の郷土史の会が近づきました。今回は平成16年度に全11巻刊行完了された「東村山市史」について、その編纂の経緯や内容のあらましについてお話をさせて頂きます。大勢のご参加をお待ち致します。

テーマ：東村山市史編纂について

講 師：東村山市ふるさと歴史館 学芸員 小峰孝男氏

日 時：平成17年2月6日(日) 13:30～16:00

場 所：東村山市ふるさと歴史館 研修室

テニス同好会

世話人 当間 昭治 TEL 391-6023



1月の例会は8日に開催の予定でしたが、コートコンディション悪く使用不可の為中止、事前に連絡が出来なかった点、お詫び致します。

2月は久しぶりの日曜日(6日)開催。寒さに負けず好天を期待しましょう。3月は残念ながら予約が取れませんでした。今後は平日の開催も検討したいと思います。

記

日時: 2月 6日(日) 午前11時~午後1時

場所: 久米川コート 3

ヨガ同好会

世話人 大西 幸夫 TEL 395-2817

1月の実施状況

第44回: 1月12日(水)、参加者、飯塚夫妻、大西、風間、小山、三宅夫人、寺村(社考会)以上7名参加、清瀬・社考会(社会参加を考える会)では1月からヨガの会を開始する事になりその第1回を19日(水)に実施することになっているため寺村さんは1週間間違えてきた為、そのまま体験してもらうことで参加してもらいました、また風間さんは午後予定があるため、太極拳、錬功18法を実施してからお帰りになりました。

第45回: 1月23日(日)、参加者: 飯塚夫妻、大西、風間、木谷夫妻、三宅夫人以上7名参加、曇り空の寒い日なので参加者は少なかったですが、何時もの通り、太極拳・錬効18法およびヨガを行いました。

H17年2月の予定

第46回: 2月9日(水) 第47回: 2月27日(日)

何れも10時00分~11時45分、東村山スポーツセンター小会議室です。

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071
八木 勝利 394-5963

新年おめでとうございます。明るい良い年でありますよう祈ります。1月の例会は新年会の後シダックスにて開催しました。井垣、小野、小林、久保、塩見、高部、高橋、当間、夏山、山下、内藤、更に雑学講師の宮沢の各氏。大人数の為各自の歌う曲は少な目でしたが、皆さん元気に寒さを吹き飛ばし、年を感じさせない盛り上げでした。

2時間をすぎた頃、江藤、風間、小亀、鈴木(国)の4名が乱入、部屋が狭くもう1部屋を手配盛会な一夜でした。

2月の例会は次のとおり開催します。

2月 5日【土】19時 ドレミ

多数のご参加をお待ちします。

(内藤記)

ゴルフ同好会

世話人 井垣和太 TEL 396-3100

○第17回会長杯コンペ4月20日（水）です！

何だかハッキリしないうちに季節が移る様な感じのこの頃ですが、暦の上では立春を迎え心浮く日々がやってきました。

恒例の会長杯コンペの日程が幹事さんから案内されました。まだまだ先のこと等と思っているうちに、その日がやってきますよ。

幹事役は、紅松喬（S45商）・紅松容子（S45教育）夫妻です。

記

開催月日 平成17年4月20日（水）

場所 新武蔵丘ゴルフコース

〒350-1246 埼玉県日高市梅原 042-974-5111

スタート 9:06～ 5組 18Hスループレー

（途中軽食摂れます）

費用 20,000円

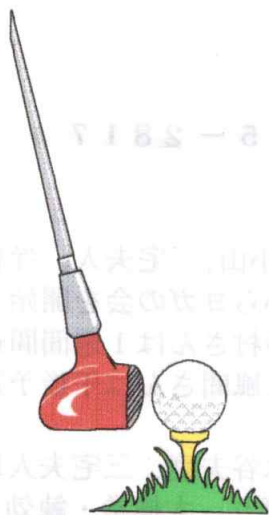
プレー費 16,000円

パーティー費 2,000円

賞品代 2,000円

参加申し込み受付は、3月初めに改めて致しますのでそれまでに、予定を調整しておいて下さい。

（井垣）



俳壇

日本の旗は日の丸深雪晴れ
水底の炭によりそふ寒の鯉
消雪パイプ街の明るく濡れてゐる
高杉風至

爪切りの忘れてありぬ冬日向
鯽起し船名しるす絵馬ならび
身の細り人に言はるる寒さかな
井垣稲雀

ご破算で願いましては去年今年
正装と見えぬでもなし初鵝
そちここに生命膨れて春隣
八木竜湖

冬木立向かふは富士の在り処
光り満つ湖上の影や浮き寝鳥
わが息の白きを子猫搔かんとす
丸本北窓

沙汰なきを明かす家人の寒見舞
あせれども歩幅は伸びず枯柳
行く水に淡き光や日脚伸ぶ
大野恵峰

手を当てて挨拶済みぬ冬帽子
湯豆腐を崩さず鞠ひ母の笑み
冬枯れの枝脈はしてみくじかな
塩見之一

空つ風花弁揺らす紅の花
他人事と思ひし年齢に至る冬
異常年予兆の多き春近く

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 高 杉 修 391-8447
井 垣 和 太 396-3100

第18回の稲酔会句会は、下記の日程で行います。会場が変更されていますので、ご注意下さい。

記

実施日 2月26日(土)
時 間 午後1時～午後4時
場 所 久米川駅前「丸藤」2階座敷 (会場変更)
投句締切 午後1時20分
兼 題 「きさらぎ」

「このところ何事もなき浮巢かな 風至」 高杉風至さんの掲句が、昨年度(社)日本俳人協会(会員1万4千人)の全国俳句大賞に入賞。菊田一平さんは角川書店発行の月刊俳句総合誌「俳句」1月号の中で、「月の名句」精選22句鑑賞の大特集記事を執筆されました。また、井垣稲雀さんの句が他の結社誌の「受贈誌の一句」として数回紹介されるなどそれぞれ活躍されています。今年も皆さんおおいに勉強に励みましょう。(稲雀 記)

園芸の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298

今年第1回園芸の会を1月29日(土)午後東村山市民スポーツセンターで催しました。開会後まず藤澤博恭氏(29政経)から、あらためてさくら草、さぎ草の育て方について懇切にご説明頂き、つづいて年初でもあり昨夏の猛暑や異常気象、地球温暖化にからめて、地球環境における植物の大切さ、ひいては我々の園芸の会の意義について広い視野でのお話を承りました。そして出席者全員が、日頃草花(主にさくら草、さぎ草)や野菜づくり堆肥・土づくり等の苦心談等、和気藹々のうちに歓談致しました。

尚當摩彰子さん(48教育)がお手作りのバラの形のケーキをご持参頂き、皆で美味しく頂戴致しました。

参加者は、上(素)、大西、木谷夫妻、小菅夫妻、高部、高柳(武)、當摩(彰)、當間夫妻、長井夫妻、比留間、藤澤、八木(勝)、三宅夫妻の計18名でした。

次回は4月10日(日)14時～當間昭治氏(43法)宅お庭で、各自が丹精こめて育てた、さくら草の品評会を催すことに致しました。

次々回は5月8日(日)午後春蒔き草花の苗の交換会を催す予定です。

旅行同好会

世話人 風 間 和 夫 TEL 394-5279
小 亀 輝 雄 TEL 394-6951



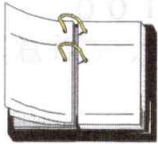
5月19日(木)～20日(金)の別所温泉へのバス旅行を計画致しましたところ、多数の方のご参加申し込みを頂き有り難うございました。1月末の締め切り日迄に定員に達しましたので締め切らせて頂きました。

尚、マイカー等でご参加頂ける方がおられましたら2月末までに世話人宛ご連絡下さい。

参加申し込みを頂いた方には後日参加者名簿・日程等を逐次ご連絡申し上げます。

以 上

今月の予定



2月 5日 (土)	役員会 カラオケ同好会
6日 (日)	テニス同好会 郷土史の会
9日 (水)	ヨガ同好会
19日 (土)	囲碁同好会
26日 (土)	俳句同好会
27日 (日)	ヨガ同好会



編集局だより

編集局：井垣、伊藤

○我が家に1幅の横額があつて、そこには「知足者富」と骨太の字で記されています。石橋湛山の書です。もともと3枚有った額を叔父から受け継いだ後に縁故の方に差し上げて結局この1枚だけになってしまいました。でも結構気に入っています。湛山に関しては色々な逸話があり、私は個人的に好きな政治家です。無欲、無私な(?)彼の様な政治家が今求められているのかも知れません。早稲田の偉大な先輩の書を眺めながら結構色々考えさせられます。因みに河野一郎の額も有るのですが、出したことは有りません。冗談交じりに言えば、我が家の伊藤博文の額は偽物だそうです。ご用心!!。

次回の原稿締め切りは2月26日(土)とさせていただきます。(3/5発行予定)

○1月8日の例会は大盛況でした。雑学講座も市民の方を含め64名が聴きましたが、最近是一般市民の方が20名近く来場されるようになりました。役員プラス会員数名の頃が思い出され、「継続は力なり」をあらためて感じます。会員の方がいまして少し多く参加してくださいと、もっと盛り上がるのではないのでしょうか。

○新年会の方は、50名以上なら宴会場貸し切りという条件で予約していたので、チョッピリ不安もありましたが、結局昨年を6名上回る55名の方が参加され、大広間を我々だけの会で占める事が出来、歓談も弾んで賑やかな2時間余りとなりました。特に御婦人方有り難うございました。

○新入会員の朝木さん、芦田さん、石井さん、が総会に続いて出席、12月に入会された夏山さんが初参加でしたが、夏山さんから当日の感想を込めた便りをメールで頂きましたので、掲載させて頂きました。当会の行事にまだ参加されたことのない会員の皆さん、是非一度顔出ししてください。きっと何かが変わって見えますよ。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

オペラ鑑賞会

清瀬稲門会 TEL 0424-91-0572 (大島さん)

2月13日(日) シモン・ボッカネグラ (ヴェルディー)

3月12日(土) セミラーミデ (ロッシーニ)

会場：アミューホール 清瀬駅北口広場 生涯学習センター7F